



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社データホライゾン

コード番号 3628 URL <http://www.dhorizon.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 内海 良夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長

(氏名) 内藤 慎一郎

TEL 082-279-5525

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	1,088	△16.3	△336	—	△331	—	△221	—
26年3月期第3四半期	1,300	19.5	△347	—	△344	—	△308	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 △220百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 △307百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△63.76	—
26年3月期第3四半期	△88.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	880	638	71.3	180.59
26年3月期	1,671	852	50.7	243.87

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 628百万円 26年3月期 848百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,755	△23.8	△165	—	△160	—	△45	—	△12.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) コスモシステムズ株式会社
詳細は、四半期決算短信(添付資料)P.5「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	3,557,060 株	26年3月期	3,557,060 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	78,851 株	26年3月期	78,851 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	3,478,209 株	26年3月期3Q	3,478,209 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.4「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	12
販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間において、当社は、医療関連パッケージシステム事業の主体である連結子会社コスモシステムズ株式会社の譲渡を行いました。また、第2四半期連結累計期間において、プログラム開発を委託していた連結子会社DATA HORIZON PHILS,INC.の解散を決議しております。これらにより、医療関連情報サービス事業への経営資源の集中を図り、データヘルス（保険者がレセプト・健診情報等のデータ分析に基づき、PDCAサイクルで効果的・効率的に実施する保健事業）を中心とした保険者向け情報サービスの営業活動と研究開発を積極的に推進してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、10億88百万円（前年同期比16.3%減）となりました。医療関連情報サービス事業の売上高は増加しましたが、連結子会社であったコスモシステムズ株式会社を平成26年10月1日付で譲渡し、連結の範囲から除外したことにより同社の売上高が前年同期に比べて減少し、前期実績を下回る結果となりました。

損益面におきましては、医療関連情報サービス事業において研究開発費の増加や販売体制強化に伴う人件費の増加があったものの、保険者向け情報サービスにおいて原価率が改善したこと、および連結除外となったコスモシステムズ株式会社が前年同期に営業損失を計上していたことなどにより、前年同期と比較して損失額が縮小し、営業損失は3億36百万円（前年同期は3億47百万円の営業損失）、経常損失は3億31百万円（前年同期は3億44百万円の経常損失）となりました。また、四半期純損失はDATA HORIZON PHILS,INC.の解散決議を受けて減損損失を計上したほか、第2四半期連結累計期間に繰延税金資産の取崩を実施したものの、コスモシステムズ株式会社の譲渡に伴い子会社株式売却益が発生したため損失額が縮小し、2億21百万円（前年同期は3億8百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 医療関連情報サービス事業

当第3四半期連結累計期間における医療関連情報サービス事業の売上高は、6億52百万円（前年同期比3.6%増）となりましたが、研究開発費の増加およびデータヘルス計画拡販のための営業体制強化に伴う人件費の増加、その他の医療情報サービスの利益率悪化などにより、セグメント損失は80百万円（前年同期は27百万円のセグメント損失）となりました。

保険者向け情報サービスの売上高は、前期に引き続き国民健康保険向けの受注が増加し、5億98百万円（前年同期比11.7%増）となりました。

このうち、国民健康保険向けの売上高は、東日本地域では、首都圏や北海道を中心に新規保険者獲得や提供サービスの追加などにより増加しております。西日本地域においても従来当社のシェアが低かった山口県での受注が拡大したほか、近畿圏や九州でも新規受注が増加し、順調に売上を伸ばしました。

また、当期は国策として推進されているデータヘルスに関する保険者の関心が高まっており、今後も従来の営業エリアに加え、東北や東海地方など新たな営業エリアでも新規保険者の獲得が見込まれます。

一方で、健康保険組合向けの売上高は、データヘルス関連が増加しているものの、従来から提供しているジェネリック医薬品通知サービスが減少したため、全体では減少となりました。

保険者向け情報サービスにおいては、データヘルス関連サービスを今後の収益の柱とすべく活動を

推進しており、紙レセプト時代からレセプトを活用した保健事業のためのシステムを開発し提供してきた技術的アドバンテージと、広島県呉市を始めとするデータヘルスに適合した効果的・効率的なサービスの提供実績をもとに、積極的な拡販を行っており今後も大幅な売上高増加を目指しています。

その他の医療関連情報サービスは、データベースの提供および保守料や医療関連の受託開発などであり、当第3四半期連結累計期間の売上高は54百万円（前年同期比42.6%減）となりました。

② 医療関連パッケージシステム事業

当第3四半期連結累計期間における医療関連パッケージシステム事業の売上高は、4億35百万円（前年同期比35.0%減）となりましたが、セグメント損失は縮小し57百万円（前年同期は1億28百万円のセグメント損失）となりました。

医療関連パッケージシステム事業の主体であったコスモシステムズ株式会社を平成26年10月1日付で譲渡し、当第3四半期連結会計期間から連結除外としているため、本事業では売上高が大きく減少となりました。一方で、前年同期は保険薬局システムにおいて新商品の販売開始の遅れなどがあったため多額のセグメント損失を計上しており、セグメント損失は縮小となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、前期末に比べて7億91百万円減少し、8億80百万円となりました。

(資産)

当第3四半期末の流動資産の残高は、前期末にコスモシステムズ株式会社が保有していた現金及び預金や売掛金などが連結除外になったことにより全体的に大きく減少したほか、前期末残高の回収による売掛金の減少などにより、前期末に比べて7億35百万円減少しました。

当第3四半期末の固定資産の残高は、コスモシステムズ株式会社保有の資産が連結除外となったことや、DATA HORIZON PHILS,INC.における減損と減価償却により有形固定資産が減少したことなどにより、前期末に比べて55百万円減少しました。

この結果、当第3四半期末の資産合計は、前期末に比べて7億91百万円減少し、8億80百万円となりました。

(負債)

当第3四半期末の流動負債の残高は、買掛金や短期借入金の大部分が連結除外となったほか、短期借入金の返済による減少やその他に含まれる未払消費税等の納付による減少などにより前期末に比べて5億9百万円減少しました。

また、固定負債は、長期借入金や退職給付に係る負債の連結除外による減少や、その他に含まれるリース債務の返済などにより、前期末に比べて67百万円減少しました。

この結果、当第3四半期末の負債合計は、前期末に比べて5億76百万円減少し、2億42百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期末の純資産の残高は、四半期純損失2億21百万円により利益剰余金が減少し、6億38百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間までの業績動向等を踏まえ、平成26年8月21日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（平成27年2月13日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、連結子会社であったコスモシステムズ株式会社の全保有株式を売却したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	360,313	279,158
受取手形及び売掛金	785,778	104,126
商品	3,466	—
仕掛品	5,883	95,637
貯蔵品	12,032	6,894
繰延税金資産	38,144	6,644
その他	44,070	16,611
貸倒引当金	△5,799	△624
流動資産合計	1,243,886	508,448
固定資産		
有形固定資産	188,595	168,838
無形固定資産		
ソフトウェア	114,158	91,922
ソフトウェア仮勘定	9,011	25,681
のれん	619	—
その他	792	404
無形固定資産合計	124,580	118,006
投資その他の資産	114,835	85,303
固定資産合計	428,010	372,148
資産合計	1,671,896	880,595
負債の部		
流動負債		
買掛金	207,723	7,763
短期借入金	250,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	25,392	—
未払法人税等	4,071	713
賞与引当金	44,453	15,761
その他	195,563	143,317
流動負債合計	727,203	217,554
固定負債		
長期借入金	26,990	—
退職給付に係る負債	44,798	14,657
その他	20,300	10,119
固定負債合計	92,087	24,776
負債合計	819,290	242,329

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	454,200	454,200
資本剰余金	154,200	154,200
利益剰余金	281,994	60,220
自己株式	△52,516	△52,516
株主資本合計	837,878	616,104
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,800	6,292
為替換算調整勘定	2,560	5,739
その他の包括利益累計額合計	10,359	12,031
新株予約権	3,709	9,826
少数株主持分	659	305
純資産合計	852,606	638,266
負債純資産合計	1,671,896	880,595

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	1,300,093	1,088,129
売上原価	881,758	716,580
売上総利益	418,335	371,549
販売費及び一般管理費	765,435	708,283
営業損失(△)	△347,099	△336,734
営業外収益		
受取利息	35	29
受取配当金	392	394
業務受託手数料	—	1,500
受取家賃	—	1,892
為替差益	—	632
助成金収入	—	150
貸倒引当金戻入額	2,476	3,594
雑収入	1,394	906
営業外収益合計	4,297	9,097
営業外費用		
支払利息	2,066	1,667
為替差損	108	—
支払手数料	—	2,500
営業外費用合計	2,174	4,167
経常損失(△)	△344,976	△331,803
特別利益		
子会社株式売却益	—	158,446
特別利益合計	—	158,446
特別損失		
固定資産除却損	2,420	167
減損損失	—	10,370
たな卸資産除却損	—	1,206
特別損失合計	2,420	11,742
税金等調整前四半期純損失(△)	△347,396	△185,100
法人税、住民税及び事業税	1,530	1,162
法人税等調整額	△40,633	35,999
法人税等合計	△39,104	37,161
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△308,293	△222,261
少数株主損失(△)	△237	△487
四半期純損失(△)	△308,056	△221,774

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△308,293	△222,261
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	188	△1,507
為替換算調整勘定	748	3,312
その他の包括利益合計	936	1,804
四半期包括利益	△307,357	△220,457
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△307,149	△220,102
少数株主に係る四半期包括利益	△207	△354

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医療関連 情報サービス 事業	医療関連 パッケージ システム 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	630,095	669,998	1,300,093	—	1,300,093
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	630,095	669,998	1,300,093	—	1,300,093
セグメント損失(△)	△27,795	△128,064	△155,860	△191,239	△347,099

(注) 1. セグメント損失の調整額△191,239千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療関連 情報サービス 事業	医療関連 パッケージ システム 事業 (注) 1			
売上高					
外部顧客への売上高	652,575	435,553	1,088,129	—	1,088,129
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	652,575	435,553	1,088,129	—	1,088,129
セグメント損失(△)	△80,402	△57,341	△137,743	△198,991	△336,734

- (注) 1. 「医療関連パッケージシステム事業」については、本事業の主体であったコスモシステムズ株式会社の全株式を平成26年10月1日付で譲渡し、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。
2. セグメント損失の調整額△198,991千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「医療関連情報サービス事業」セグメントにおいて、平成26年9月16日付けで解散を決議した連結子会社DATA HORIZON PHILS,INC.が保有する事業用資産について減損損失10,370千円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

4. 補足情報

販売の状況

当第3四半期連結累計期間の販売実績をサービス・製品の区分ごとに示すと、次のとおりであります。

(サービス・製品別売上高)

サービス・製品の名称	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増 減	
	自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日		自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日		金額 (千円)	増減率 (%)
	販売高 (千円)	構成比 (%)	販売高 (千円)	構成比 (%)		
保険者向け情報サービス	535,870	41.2	598,528	55.0	62,657	11.7
その他	94,225	7.3	54,047	5.0	△40,177	△ 42.6
医療関連情報サービス	630,095	48.5	652,575	60.0	22,480	3.6
保険薬局向けシステム	368,289	28.3	248,883	22.9	△119,405	△ 32.4
病院向けシステム	294,194	22.6	181,790	16.7	△112,405	△ 38.2
その他	7,515	0.6	4,880	0.4	△2,635	△ 35.1
医療関連パッケージシステム	669,998	51.5	435,553	40.0	△234,445	△ 35.0
合計	1,300,093	100.0	1,088,129	100.0	△211,965	△ 16.3

(注) 記載金額は、千円未満を四捨五入して記載しております。